

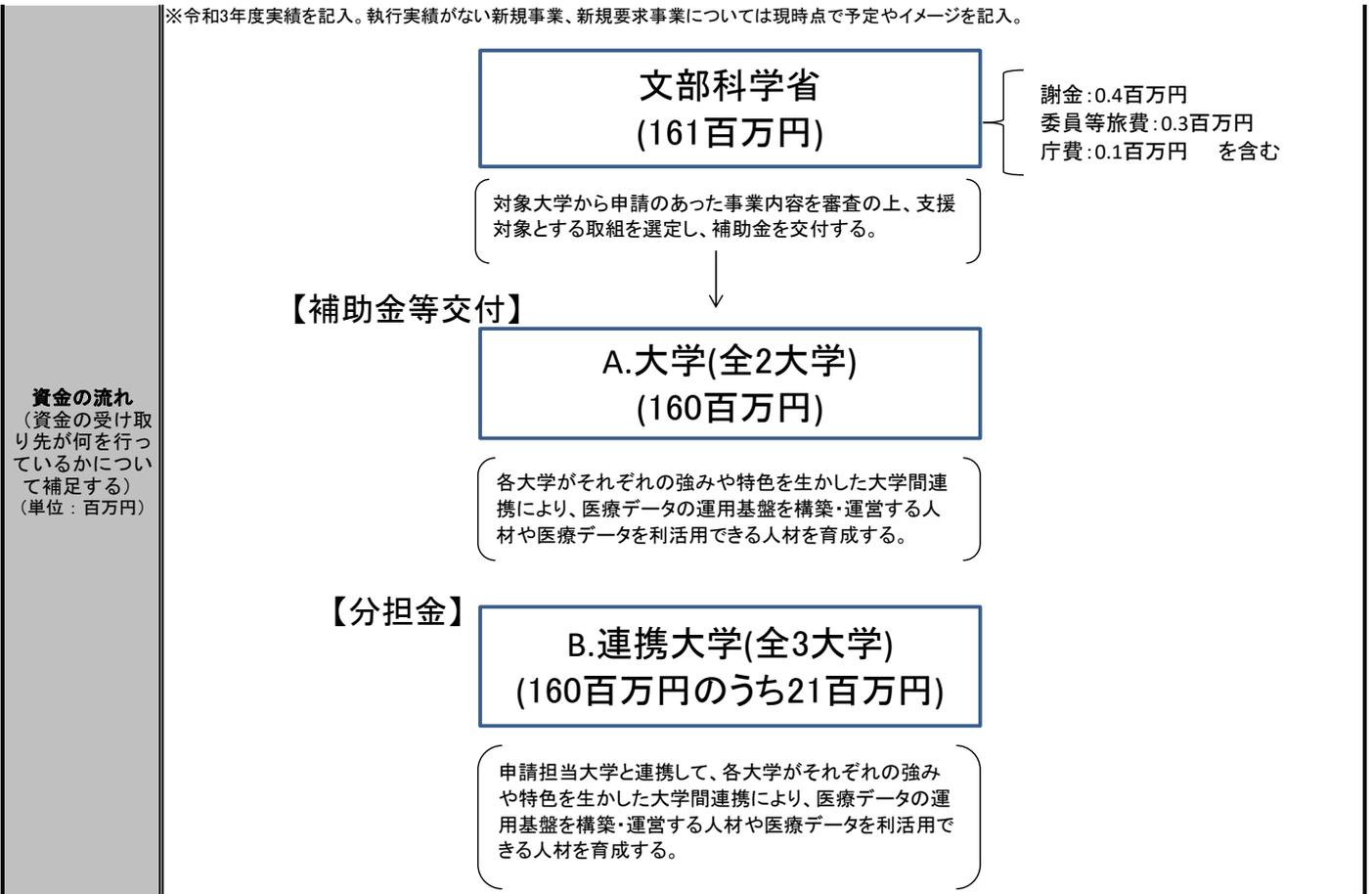
令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	医療データ人材育成拠点形成事業			担当部局庁	高等教育局	作成責任者				
事業開始年度	令和元年度	事業終了 (予定) 年度	令和5年度	担当課室	医学教育課	医学教育課長 伊藤 史恵				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	健康・医療戦略(平成26年7月22日閣議決定、平成29年2月17日一部変更) キャリアパスの視点から見たゲノム医療関連人材の育成について(平成29年12月12日) 医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する基本方針(平成30年4月27日閣議決定) 未来投資戦略2018(平成30年6月15日閣議決定)					
主要政策・施策				主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	世界に先駆けて超高齢社会を迎える我が国においては、健康寿命の延伸による一億総活躍社会の実現に向け、地域社会と連携した予防・医療・介護システムの構築や医療データの利活用による次世代の医療の実現などが求められており、これらの医療ニーズに対応できる医療人材の養成が求められることから、医療データの利活用を推進できるトップレベルの人材を育成する拠点を形成する。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	複数の大学が連携し、それぞれの強みや特色を活かして、医療データの活用基盤を構築・運営する人材や医療データを利活用できる人材を育成する優れた取組を支援する。 【補助率:定額補助】									
実施方法	補助									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	201	170	161	131	67			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		201	170	161	131	67			
	執行額		192	169	160					
	執行率 (%)		96%	99%	99%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		96%	99%	99%					
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	研究拠点形成費等補助金	131	67	公募要領に基づき、最終年度は初年度予算額の1/3に逡減した金額を要求額とするため。						
	研究拠点形成等謝金	0.3	0							
	研究拠点形成等業務庁費	0.2	0							
	研究拠点形成等委員等旅費	0.2	0							
	研究拠点形成等業務旅費	0.1	0							
	その他	0	0							
計	131	67								
活動内容 (アクティビティ)	選定大学を対象に、医療データの活用基盤を構築・運営する人材及び利活用できる人材を育成するための優れた取組を支援する。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	医療データの活用基盤を構築・運営する人材及び利活用できる人材を育成するための教育プログラム・コースの新設(発展的改善・拡充を含む)	教育プログラム・コースの実施数	活動実績	件	1	5	5	-	-	
			当初見込み	件	0	5	5	5	5	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/事業参加大学数			単位当たり コスト	百万円	95.5	84.5	80	65.5	
				計算式	執行額/事業参加大学数	191百万円/2大学	169百万円/2大学	160百万円/2大学	131百万円/2大学	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	成果実績	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 5 年度	
	医療データの活用基盤を構築・運営する人材及び利活用できる人材の養成数	各大学が設定した医療データの活用基盤を構築・運営する人材及び利活用できる人材養成プログラム・コースにおける養成人数		成果実績	人	12	93	171	-	-
		目標値	人	0	46	114	-	270		
		達成度	%	-	202	150	-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	成果実績: 医療データ人材育成拠点形成事業 取組状況調査等 目標値: 医療データ人材育成拠点形成事業 申請書 教育プログラム・コース受入目標人数									
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	4 個性が輝く高等教育の振興			政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-4_1.pdf				
	施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上			該当箇所	3頁				
	取組事項	分野:	-							
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:								
	該当箇所									
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	項目				評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	健康長寿社会に向けた次世代の医療を実現するため、医療現場から大規模に収集される多様なデータの活用基盤を構築・運営する人材、医療データを活用できる人材の育成が急務であり、本事業はこういった社会のニーズを反映しているものである。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	本事業は、「健康・医療戦略」や「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する基本方針」、「未来投資戦略2018」等に盛り込まれた人材の育成を推進するものであり、我が国全体として必要とされる人材を計画的かつ確実に育成・確保する観点から、国が財政支援を行いながら強力に推進する必要がある。				
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	本事業は、「健康・医療戦略」や「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する基本方針」、「未来投資戦略2018」等を踏まえ、次世代の医療に対応できる優れた人材の育成を推進するものであり、適切かつ優先度が高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無	支出先の選定に当たっては、公募を実施し、第三者委員会で選定することにより、その妥当性や競争性を確保している。				
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。				○	交付決定・額の確定の際に、交付先から提出される申請書及び実績報告書等に基づいて精査をしているため、受益者との負担関係は妥当である。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	交付決定・額の確定の際に、交付先から提出される申請書及び実績報告書等に基づいて、支出先・用途を把握し妥当なコスト水準かを厳正に確認している。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				○	交付決定・額の確定の際に、連携先や分担金等資金の流れを確認している。				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	交付決定・額の確定の際に、支出先・用途について厳正に確認することで、事業目的に即した真に必要なものに限定している。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	事業の実施に当たっては、事業の中間評価の結果を各大学の経費配分に反映させるなど、効率化に努めている。					

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	定量的な成果目標に対して実績は確実に達成されており、着実な実施に努めている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	支出先の選定に当たっては、公募を行い、最も効果的・効率的に実施できる者を選定している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当該事業の活動実績については、医療現場から大規模に収集される多様なデータの活用基盤を構築・運営する人材、医療データを利活用できる人材の育成といった成果指標を達成すべく、設定した指標であり、毎年度当該目標値について検証作業を行うことで、着実な実施に努めている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果については各大学のホームページで公表されており、成果事例の活用促進を図っている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業は、「健康・医療戦略」や「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する基本方針」、「未来投資戦略2018」等を踏まえ、次世代の医療に対応できる優れた人材の育成を推進するものであり、適切かつ優先度が高い事業である。支出先の選定に当たっては、公募を実施し、第三者委員会で選定することにより、その妥当性や競争性を確保している。令和3年度には外部有識者による中間評価を実施し、各取組が掲げた当初計画が順調に進捗していることを確認している。	
	改善の方向性	本事業の実施に当たっては、毎年度の進捗状況・取組実績等を報告書により確認するとともに、事後評価を実施し、評価結果を踏まえた事業内容の改善・定着、成果の普及・発信を行うこととする。	
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
一部の改善内容	この事業は、概ね計画通りに実施されていると考えられるが、引き続き事業の成果のよりの確かな把握に努めるべきである。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
執行善等改善	本事業については、令和5年度までの継続事業として概算要求を行い、採択大学における人材養成の拠点となるための取組を引き続き推進している。引き続き、毎年度の事業の進捗状況のフォローアップを実施するとともに、事業終了後には事後評価を実施し本事業の成果の把握や普及に努めて参りたい。		
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成23年度	-		
平成24年度	-		
平成25年度	-		
平成26年度	-		
平成27年度	-		
平成28年度	-		
平成29年度	-		
平成30年度	新31-0012		
令和元年度	文部科学省 - 新31 - 0012		
令和2年度	文部科学省 0129		
令和3年度	2021 文科 20 0135		

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.国立大学法人京都大学			B.国立大学法人筑波大学		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	外注費、印刷製本費 等		38	人件費・謝金	事務補佐員 等	4
人件費・謝金	事業担当教員、事務補佐員 等		25	間接経費	間接経費	2
間接経費	間接経費		20	物品費	消耗品 等	1
旅費	拠点会議旅費 等		2			
物品費	教員PC端末 等		1			
計			86	計		7

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人京都大学	3130005005532	関西広域 医療データ人材教育拠点形成事業	86	補助金等交付	-	-	
2	国立大学法人東京大学	5010005007398	医療リアルワールドデータ活用人材育成事業	74	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人筑波大学	5050005005266	医療リアルワールドデータ活用人材育成事業(分担金)	7	その他	-	-	
2	国立大学法人富山大学	4230005003054	医療リアルワールドデータ活用人材育成事業(分担金)	7	その他	-	-	
3	学校法人自治医科大学	4010005002334	医療リアルワールドデータ活用人材育成事業(分担金)	7	その他	-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	